

成人式シンポジウム

「那覇市成人式のこれからを考える」

「荒れた成人式」として国内外に報道された那覇市の成人式について考えてみよう、3月2日土曜日、成人式シンポジウム「那覇市成人式のこれからを考える」が中央公民館で開かれました。

シンポジウムは、大城宜武さん(沖縄キリスト教短期大学教授)をコーディネーターに、シンポジストには山根春代さん(鏡原中校区青少年協会長)、島袋栄弘さん(那覇地区中学校長会会長)、柳橋義樹さん(トクバトルファイナルスタート主宰)、富山徳造さん(石嶺町旗頭保存会副会長)、上地幸一(市教委生涯学習部社会教育課長)の各氏を迎え、フロアの参加者を迎えて3時間にわたる白熱した議論が展開されました。

20歳の柳橋さんは、荒れた成人式について「成人式は必要だと思いが、新成人が求めたのは自由、行政が求めたのは責任、自由のない責任は抑圧。一方的に押しつける抑圧と忍耐は違う」と指摘、自ら16歳で理容室に勤めた際上司との関係で学んだ「自由」と「責任」について語り、「最初から信頼されて自由を与えられると、自ずから責任が伴うことに気づく。大人のみなさん、本当にあなたの周りの人を心から信頼して自由を与えられますか?」と会場に質問、盛んな拍手がわき起こりました。

石嶺町旗頭保存会の富山さんは「子どもたちは地域が育てるもの。学校にも行かない子どもたちは誰が教つてくれるのか。地域が学校を引き寄せればよい。青年活動が盛んな中北部の成人式が荒れないのはなぜですか?」と、成人式の各地域での分散開催を提案しました。

鏡原中校区青少年協会の山根さんは「沖縄の人はおらかな気風の半面、けじめのなさがある。けじめとして人生の節目は必要。方法はいろいろあると思うが、これまでどおり継続してもらいたい」と行政による一か所開催を主張しました。

会場からは「彼らの求めている愛情なのが問題。愛情の押し売りになっていないか」という声も聞かれました。最後にコーディネーターの大城さんは、今回のシンポジウムのまとめとして「成人式は青少年の問題。成人はどのような大人になりたいのか。大

どう祝われたい?新成人。

若い世代から熟年層まで約150人の市民が会場を埋めつくした成人式シンポジウム(3月2日・中央公民館)



勢がないと問題解決にならないのでは?」という疑問の声もあがり、上地幸一(市教委生涯学習部社会教育課長)は「大人の愛情は必ず伝わると信じている。どのような形にする新成人を中心に、地域と学校が一体となって意義のあるものにしていきたい」と行政の立場を示しました。

人はどのような大人になつてほしいのか。対処の方法は一つではないはずだ。式典があるから大人になるのではない。新成人はどのように祝われたいのかということが、これからの那覇市の課題となることであろう」と結びました。

ダウンロードサービス 開始

家に居ながら市税に関する交付申請書が入手できる



本市では、市民への行政サービスとして、市税に関する証明等について市役所に出向く前に申請書や委任状をインターネットからダウンロードして作成できるサービスを開始しました。ダウン・ロードサービスを利用すると、自宅または職場等にいながら、市税に関する証明等の交付申請書等が作成できます。

申請書及び証明	受付窓口
1 税務証明交付申請書 (1) 所得証明 (2) 納税証明 (3) 資産証明	税制課 真和志支所 首里支所 小禄支所
2 名寄(兼)課税台帳(写)交付申請書	資産税課
3 賦課資料(写)交付申請書 (1) 市県民税申告書 (2) 確定申告書 (3) 給与支払報告書 (4) その他の賦課資料	市民税課
4 営業証明願 (1) 営業証明(個人用) (2) 営業証明(法人用)	市民税課
5 扶養証明願	市民税課・三支所

お問い合わせ 税制課
☎862-9903 FAX862-4258
http://www.city.naha.okinawa.jp/

サービス利用上の注意点

- このサービスは、インターネットによって直接交付申請を受け付けるものではありません。
- ダウン・ロードして入手した交付申請書(様式)等を作成のうえ、直接交付窓口へ提出してください。
- このサービスは、市税証明書等に関するすべての交付申請書等を提供するものではなく、インターネット掲載が可能なもので、かつ窓口での詳細な記載指導を必要としないものを提供するものです。

平成14年度春 シニア海外ボランティア 募集説明会

日時: 5月12日(日) 14:00~15:30
場所: 自治会館 第1会議室
●募集期間: 平成14年4月10日(水)~5月20日(月)
●資格条件: 40才~69才までの方
●派遣期間: 1ないし2年

平成14年度春 青年海外協力隊員及び日系社会青年ボランティア募集説明会

日時: 5月12日(日) 17:00~19:00
場所: 自治会館 第1会議室
●募集期間: 平成14年4月10日(水)~5月20日(月)
●応募資格: 20歳~39歳までの方
●派遣期間: 原則として2年

お問い合わせ
国際協力事業団 沖縄国際センター 業務課
☎098-876-6000(代)

那覇市母子及び父子家庭等児童入学祝金及び沖縄県入学激励金の支給申請受付について

早めに期間内に申請してください。
申請期間 4月8日(月)~4月30日(火)
土日祝祭日は申請受付できません。
※期間中に申請された方は、審査の上5月末日に口座振込みします。
期間終了5月1日以降は申請受付できませんのでご注意ください。
受付時間 午前8時30分~午後5時まで(12時~1時の昼食時間を除きます)
支給額
那覇市祝金→小学校 7,000円: 中学校 7,000円
沖縄県激励金→小学校 5,000円のみ
申請受付場所・お問い合わせ
こども課 母子児童係 本庁3階4番窓口
☎867-0111(内線2521,2626)



「荒れた成人式」として国内外に報道された那覇市の成人式について考えてみよう、3月2日土曜日、成人式シンポジウム「那覇市成人式のこれからを考える」が中央公民館で開かれました。

シンポジウムは、大城宜武さん(沖縄キリスト教短期大学教授)をコーディネーターに、シンポジストには山根春代さん(鏡原中校区青少年協会長)、島袋栄弘さん(那覇地区中学校長会会長)、柳橋義樹さん(トクバトルファイナルスタート主宰)、富山徳造さん(石嶺町旗頭保存会副会長)、上地幸一(市教委生涯学習部社会教育課長)の各氏を迎え、フロアの参加者を迎えて3時間にわたる白熱した議論が展開されました。

20歳の柳橋さんは、荒れた成人式について「成人式は必要だと思いが、新成人が求めたのは自由、行政が求めたのは責任、自由のない責任は抑圧。一方的に押しつける抑圧と忍耐は違う」と指摘、自ら16歳で理容室に勤めた際上司との関係で学んだ「自由」と「責任」について語り、「最初から信頼されて自由を与えられると、自ずから責任が伴うことに気づく。大人のみなさん、本当にあなたの周りの人を心から信頼して自由を与えられますか?」と会場に質問、盛んな拍手がわき起こりました。

石嶺町旗頭保存会の富山さんは「子どもたちは地域が育てるもの。学校にも行かない子どもたちは誰が教つてくれるのか。地域が学校を引き寄せればよい。青年活動が盛んな中北部の成人式が荒れないのはなぜですか?」と、成人式の各地域での分散開催を提案しました。

鏡原中校区青少年協会の山根さんは「沖縄の人はおらかな気風の半面、けじめのなさがある。けじめとして人生の節目は必要。方法はいろいろあると思うが、これまでどおり継続してもらいたい」と行政による一か所開催を主張しました。

会場からは「彼らの求めている愛情なのが問題。愛情の押し売りになっていないか」という声も聞かれました。最後にコーディネーターの大城さんは、今回のシンポジウムのまとめとして「成人式は青少年の問題。成人はどのような大人になりたいのか。大

~精神保健福祉業務が一部市町村に移ります~

障害者の自立、参加、平等を目的とした「障害者基本法」が1993年にできました。その中で初めて、精神障害者も、身体障害者と同様に、その範疇に加わることとなりました。市町村への精神保健福祉業務移管をきっかけに、心の病をもつ方々のニーズに合わせた事業の実施や、障害を持っていても暮らしやすい地域づくりはどうあればいいのか、皆で一緒に考えていきましょう。

平成14年度より、以下の業務を実施します

- ①通院医療費公費負担の申請手続き
認定されると、精神科通院医療費が無料になります。(これまで通り認定業務は県で行われ、健康保険以外の自己負担分が公的に負担されます)
- ②精神障害者保健福祉手帳の申請手続き
手帳所持者は各種の税の優遇とホームヘルパー派遣の対象になります。
- ③ホームヘルプサービスの実施
家庭を訪問して、食事、入浴、掃除等といった家事を手伝ったり、それらを出来るようにアドバイスしたり、相談相手等といった日常生活の手助けを行います。精神障害者保健福祉手帳をもっている方が対象で、申請後認定されればサービス開始となります。
- ④精神保健福祉ボランティアの養成
精神保健福祉事業のお手伝いができる方、関心のある方を対象に教室を実施します。
- ⑤普及啓発
精神障害について理解を深められるよう、啓発していきます。
- ⑥福祉施設の利用等に関する相談
*特に通院医療費負担の手続き、精神障害者保健福祉手帳の申請等の窓口は、4月1日より沖縄県中央保健所から那覇市になりますのでご注意ください。

お問い合わせ 健康推進課健康推進係(本庁3階) ☎862-9016

自衛官募集のご案内

大学生や高校生の皆さん、自衛隊を進学・就職の一つの選択肢として考えてみませんか。詳しい内容については、市民平和交流室または沖縄地方連絡部那覇分駐所へ直接お問い合わせ下さい。

那覇市役所市民平和交流室 ☎: 868-3003
沖縄地方連絡部那覇分駐所 ☎: 866-5457

募集種目	受験資格	受付開始
幹部候補生	一般技術 22歳以上26歳未満 大学院卒は28歳未満	4月上旬
	医歯薬 専門の大卒(見込)30歳未満 薬剤師は26歳未満(薬学修士修了者は28歳未満) 初任給(大卒)218,300円 初任給(院卒)237,400円	4月上旬
防衛大学校	推薦 高卒(見込)21歳未満 高等学校長の推薦必要	9月上旬
	一般 高卒(見込)21歳未満 学生手当107,600円	9月上旬
防衛医科大学校	高卒(見込)21歳未満 学生手当107,600円	9月上旬
航空学生	高卒(見込)21歳未満 初任給163,300円	8月上旬
看護学生	高卒(見込)21歳未満 初任給163,300円	8月上旬
一般曹候補生	18歳以上24歳未満 初任給163,300円	8月上旬
曹候補士	18歳以上27歳未満 初任給163,300円	8月上旬
2等陸海空士	男子 18歳以上27歳未満 初任給163,300円	通年
		女子
自衛隊生徒	中卒(見込)17歳未満の男子 初任給155,900円	11月初旬